

## 令和8年度 沼津工業高等専門学校未来創造ラボラトリー利用企業等募集要項

### 沼津高専について

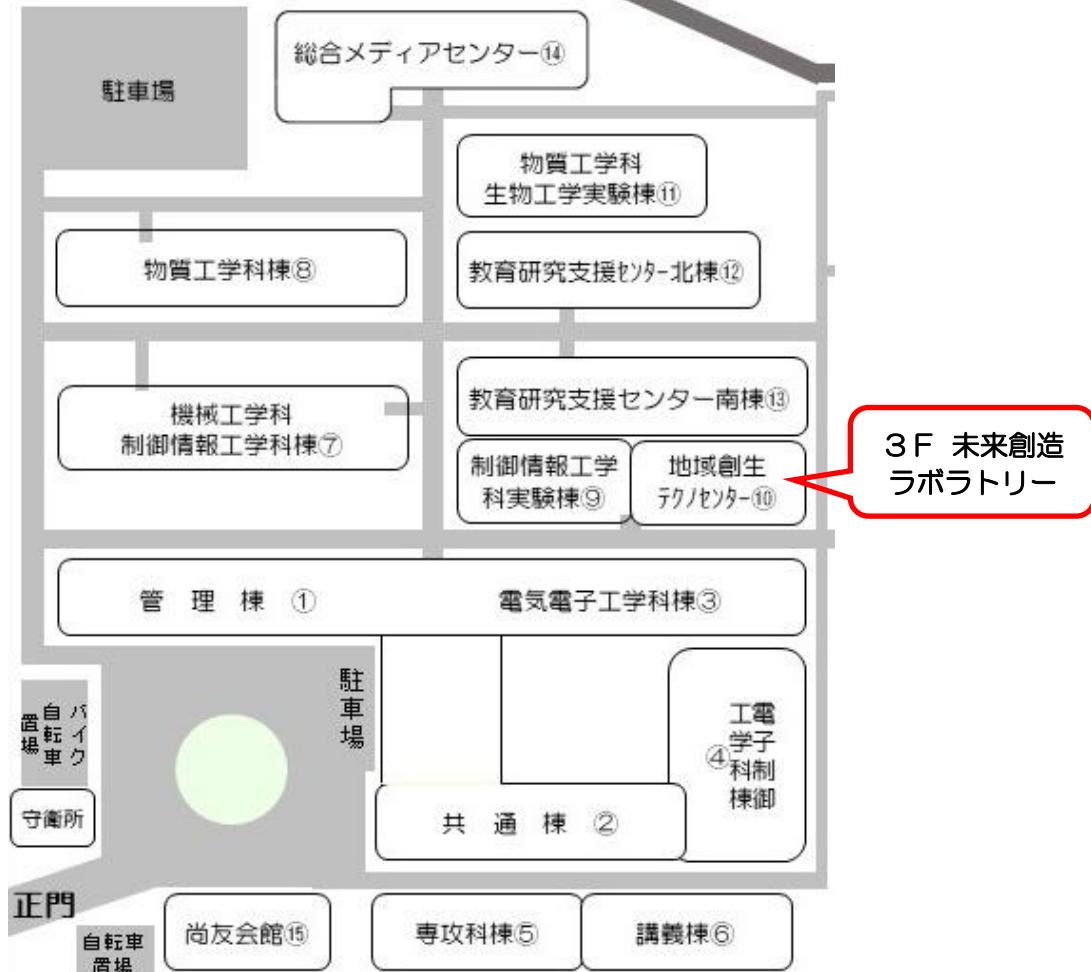
中学卒業生に5年間の技術者教育を行い、20歳の技術者を養成する高等教育機関である高等専門学校の1つである沼津高専は、昭和37年設置の最も歴史のある高等専門学校です。専門5学科の本科課程と1専攻3コースの専攻科課程が設置され、新産業に対応できる技術者を育成する教育を行っています。

### 未来創造ラボラトリーの紹介

地域の新産業で活躍する人財育成と地域産業振興のカギを握る中小企業の研究開発・人財育成を目的として、未来創造ラボラトリーを沼津高専内に設けました。ここに地域企業をはじめとする企業が沼津高専内で連携して活動することにより、学内インターンシップやキャリア教育を通じた学生への教育と地域企業との共同研究を進める目的としています。

(学校内の配置図)

〒410-8501 静岡県沼津市大岡3600 沼津工業高等専門学校 地域創生テクノセンター3F



ラボラトリーの利用を希望される際には、次頁以降の内容をご理解いただき、お申込みいただきますようお願いいたします。

## 1. 利用対象となる企業等

次のいずれかの基準を満たすもの

- ・本校のC O O P 教育（インターンシップ受入やキャリア教育実施等）に協力することができるもの
- ・共同研究等により本校との協力関係をもった研究開発及び事業等を行うことができるもの
- ・上記に準ずると校長が認めたもの

## 2. 利用料金について

利用料金については、各部屋で使用した電気料金を除き、当該年度分を予め振込みいただきます。

なお、振込後に利用者の都合によりその使用を取消し又は変更した場合は、利用料金等を返還することはできません。

### （1）賃貸スペースの構成及び利用料金について

部屋面積	共有スペース面積	利用料金	備 考
20 m <sup>2</sup> (1部屋あたり)	23 m <sup>2</sup>	255,000 円／年度	月・日単位の利用募集及び利用料金の計算は行っておりません。

※利用料金には、共有スペースの光熱費・空調費、諸経費を含め、各部屋に机・椅子・キャビネット・作業台が備え付けられています。

※「利用料金」には、各部屋の照明、空調費、コンセント使用料金等は含みません。個別に設置したメーターにより、月ごとに請求いたします。

### （2）実験機器等の物品使用について

#### ・共同研究

共同研究契約を締結し、本校教員と共同研究を行っている場合は、高専の事業に支障が無く研究目的の遂行に必要な範囲で、本校教員と共同にて実験機器等を使用することができます。なお、機器使用に関する材料費等は予め共同研究契約時に納入いただきます。

※共同研究については、独立行政法人国立高等専門学校機構共同研究実施規則及び沼津工業高等専門学校共同研究取扱規則で定められた取扱いとなります。

#### ・科学技術相談

科学技術相談申込書を提出し、その申込内容について本校教職員が対応できる場合は、高専の事業に支障が無く科学技術相談の目的に必要な範囲で、本校教職員の指導を受けながら実験機器等を使用することができます。なお、機器使用に関する材料等は、別途ご用意いただくか、その費用をその都度納入いただきます。

※科学技術相談については、独立行政法人国立高等専門学校機構技術相談に関するガイドライン及び沼津工業高等専門学校科学技術相談取扱規則で定められた取扱いとなります。

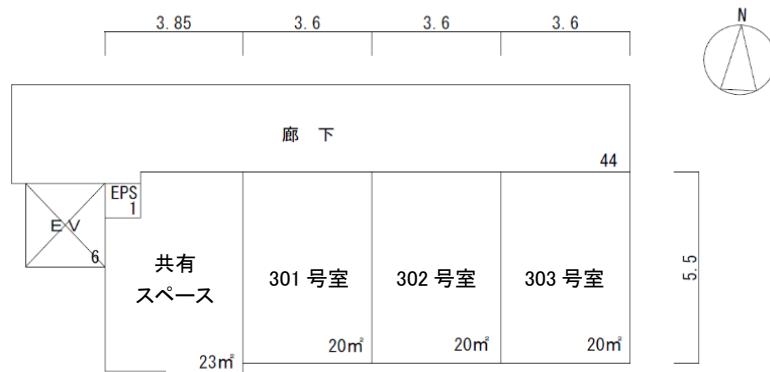
### （3）施設等の維持管理に必要な経費の負担について

通常の使用における損傷・故障及び経年劣化や自然災害などによる損傷・故障については本校の負担とし、それ以外の損傷・故障については利用者の負担とします。

### 3. 貸出スペースの主な設備等

設備等	摘要
面 積	20 m <sup>2</sup>
仕上げ	床：OAフロア、ビニル床タイル仕上げ 壁：(廊下側)軽量間仕切壁塗装仕上げ、(外壁側)コンクリート壁塗装仕上げ (部屋間)ローパーテイション(※上部30cm程度隙間あり) 天井：LGS下地、化粧石膏ボード仕上げ
施 錠	自動施錠(カード式入退室)
備 品	机、椅子、キャビネット、作業台
電 源	専用実験盤(単相3線(100/200V)、メインブレーカー：50A)
床加重	荷重グレード3000N(集中荷重約300kgf)
照 明	蛍光灯
空 調	冷暖房完備(室内のコントロールは各部屋で行えます)
換 気	ロスナイ
給排水	各部屋に給排水はありませんが、共有スペースに給湯所があります。
電 話	内線電話あり。外線電話を使用する場合の、電話機・使用料金等は、全て利用者の負担となります。
インターネッ	引込み可能。利用する際は各自利用契約を行ってください。
駐車場	1台(2台以上必要の場合は別途ご相談ください)
その他	<p>①上記記載以外に必要なものは利用者が用意してください。</p> <p>②利用時間の制限はございませんが、宿泊や深夜帯の利用はお控えください。</p> <p>③部屋の上部に30cm程度の隙間があり、隣接する部屋に声や音が伝わりやすくなっていますので、あらかじめご了承願います。(大声での会話はお控えいただくななど、ご配慮くださいますようお願いします。)</p> <p>④テクノセンター棟の玄関は、夜間施錠しており、入棟できない時間帯があります。なお、退棟時間の制限はありません。</p> <p>⑤定期点検等に伴う停電や断水等があります。</p> <p>⑥退去時に、原状に復していただきます。</p> <p>⑦沼津高専の敷地内は禁煙です。</p> <p>⑧共有スペースは自由に使用できますが、私物放置、私用の電源使用はお控えいただき、各自清掃をお願いします。</p>

未来創造ラボラトリー平面図



## 未来創造ラボラトリー写真



### 4. 利用について

#### (1) 利用期間について

利用期間は年度を単位とし、継続して利用する場合は校長が特に認めた場合を除き3年までとなります。

#### (2) 退去について

退去時に必要な経費は利用企業等の負担とします。

なお、退去日は利用期間満了日以前となります、利用期間内であっても、次の場合には退去していただくことがあります。

- ・公の秩序を乱し、または善良な風俗を害するおそれがある場合
- ・料金の支払に滞納が生じた場合
- ・施設又は設備を汚染、損傷、または亡失するおそれがある場合
- ・その他、本事業の目的に反する利用を行ったと判断した場合

#### (3) 原状回復について

通常の使用に伴い生じた損耗を除き、退去日までに原状回復を行ってください。

### 5. 利用企業等の選定方法

選定にあたっては、提出された申請書類により審査を行い決定します。

## 6. 提出書類

○未来創造ラボラトリー利用申請書（様式1）

○事業内容を確認できる書類

（事業パンフレット、技術・製品の資料（カタログ）等の参考書類）

※利用申請書の様式は以下ウェブサイトからダウンロードできます。

[（<https://www.numazu-ct.ac.jp/research/miraicreatelab/>）](https://www.numazu-ct.ac.jp/research/miraicreatelab/)

※提出いただいた書類等は、返却いたしません。

※提出いただいた書類及び記載事項については、本施設の利用審査等に使用するものであり、利用者の承諾なしに公開することはありません。

## 7. 手続き及びスケジュールについて

（1）利用申請の締切：令和8年1月15日（木）17時まで

（2）審査結果の通知：2月中旬頃にご連絡いたします。

（3）利用の開始：許可された利用開始日以降（令和8年4月1日以降）

（4）申込関係書類の提出方法

必要書類を以下宛先までご郵送またはご持参ください。

提出先：〒410-8501 静岡県沼津市大岡3600

沼津工業高等専門学校 総務課研究支援係

TEL：055-926-5762 ／ FAX：055-926-5700

E-mail：kenkyu@numazu-ct.ac.jp

～利用企業の皆様には、以下のいずれか、または複数のご支援・ご協力をお願いします。～

#### ○インターンシップの受入れ

- ・長期インターンシップ

専攻科1年生の1～3名を10月から翌年1月までの約4か月間を基本として受け入れる。

- ・短期インターンシップ

本科4・5年生の1～3名を受け入れる。実習時間は30時間とし、受入時期や受入期間については、受講学生に合わせて柔軟に対応する。

#### ○実習プログラムの提供

設計・製造・開発や実験・解析・研究の実務体験を主とし、本校の指導教員と連携して、受講学生に適した教育プログラムを提供する。

#### ○インターンシップやキャリア教育に関する講義等

これから長期インターンシップを体験する専攻科1年生への講義や、就職・進学を迎える本科生へのキャリア教育講義等への協力を依頼する場合がある。

#### インキュベートルーム活用COOP教育プログラムについて

本校では、専攻科1年生に、長期インターンシップ（学外実習）を必修として課しています。

実習期間は10月から翌年1月までの約4か月間、派遣先は企業現場や大学の研究室で、設計・製造・開発や実験・解析・研究の実務を体験します。

また、本科4～5年生は、1週間（30時間）程度の短期インターンシップ（学外実習）を長期休業中にを行い、生産現場や研究機関等における研究・開発・生産などの活動を体験します。

一般的なインターンシップは、企業等が主体で行われますが、インキュベートルーム活用COOP教育プログラムでは、インターンシップ（学外実習）等を学内で行うことにより、本校とインキュベートルーム利用企業が連携し、地理的、時間的優位性を活かして、受講学生により適したCOOP教育プログラムの実現を目指しています。

【問合せ先】総務課研究支援係 TEL：055-926-5762 E-mail：kenkyu@numazu-ct.ac.jp